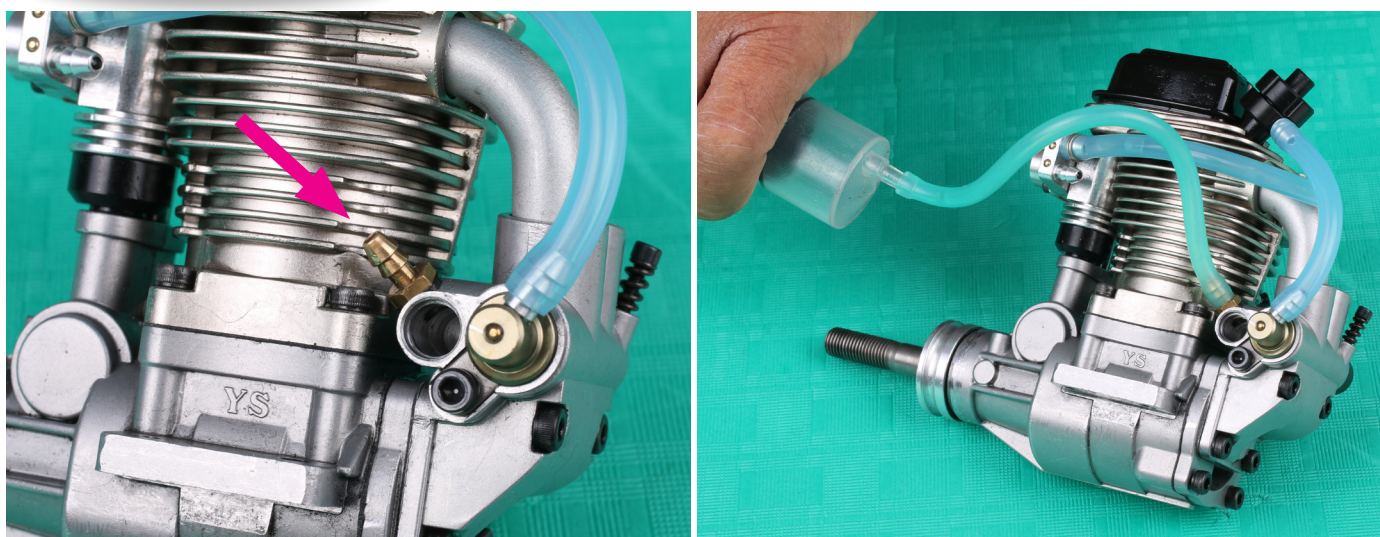
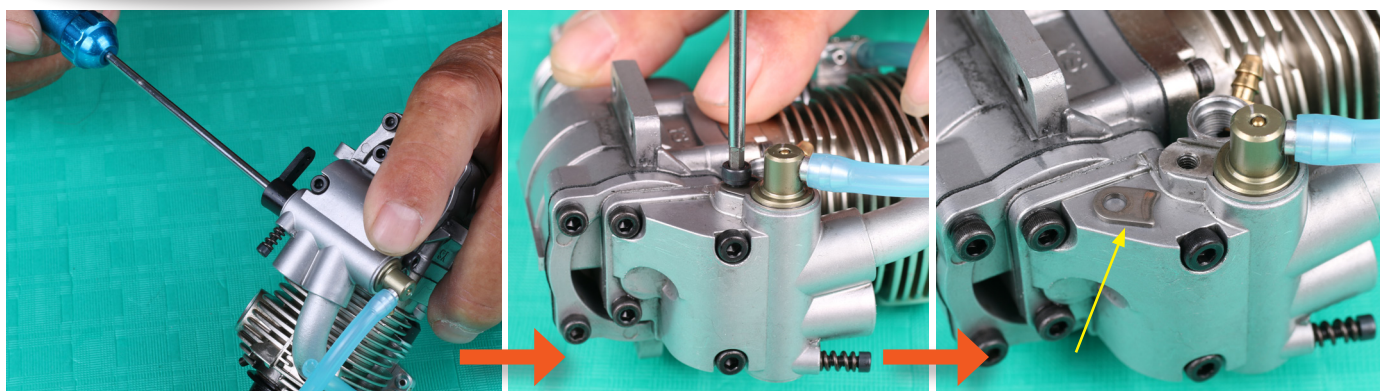


ゴミ取り方法 ③ 続けて「スプレーバー」の掃除を一緒にしておこう

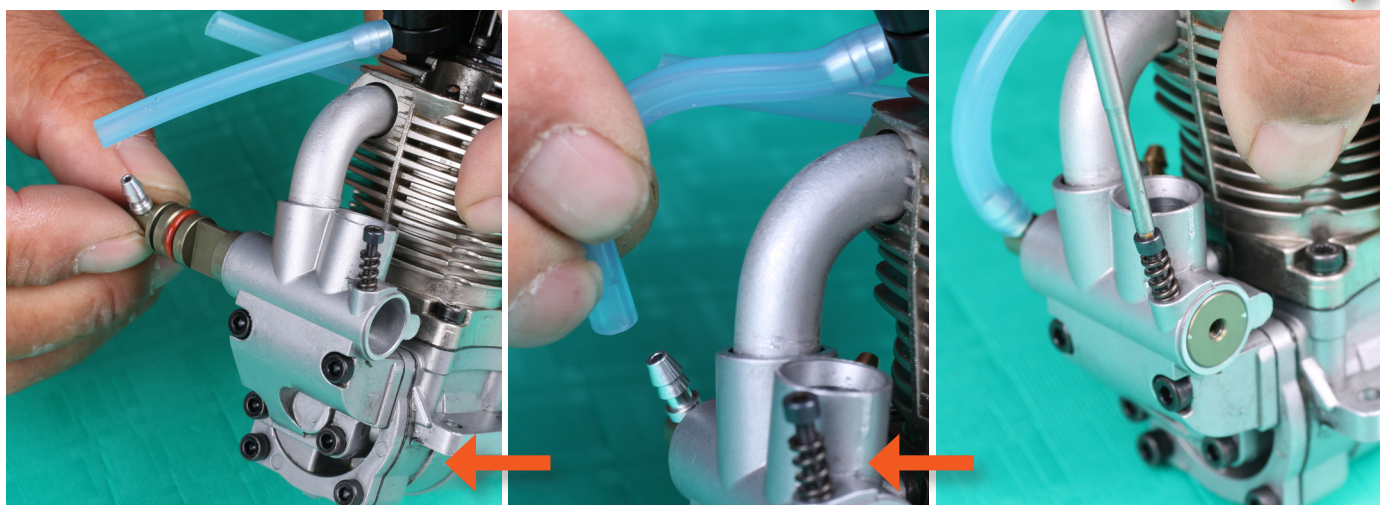


↑「スプレーバー」を外した後のエンジン側の掃除も行っておこう。ニップルの先にパーツクリーナーを噴霧していく。 ↑パーツクリーナーがなければ「注射器」にアルコールを入れて洗い流すか空気で吹き飛ばして掃除するといいたいだろう。

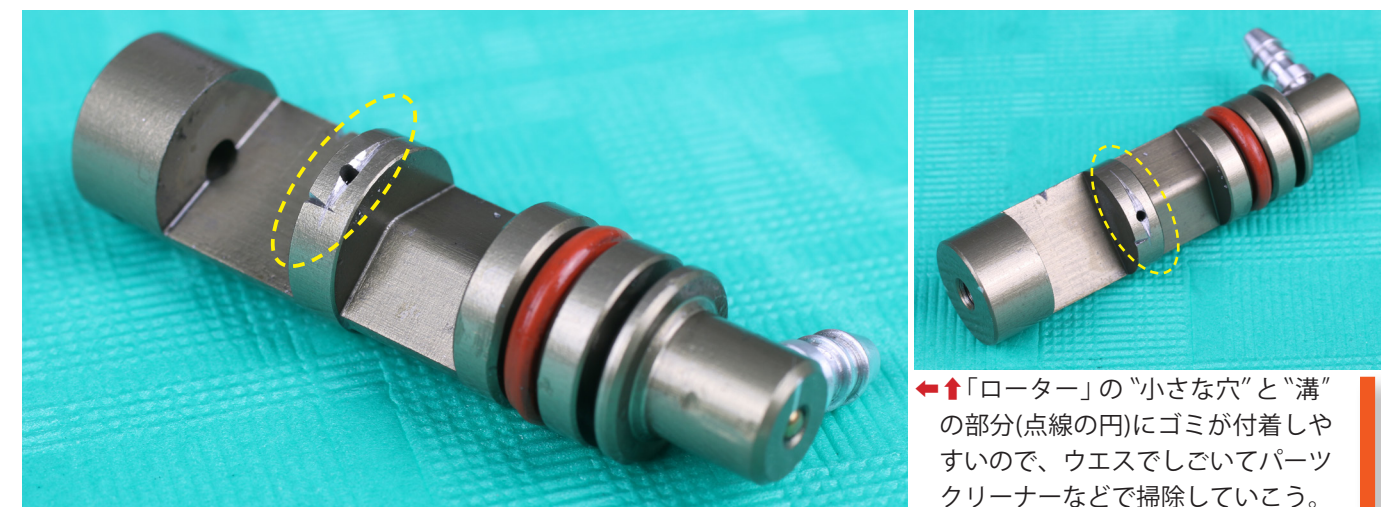
ゴミ取り方法 ④ ここまできたら「ドラム」の溝掃除もやっておこう



↑キャブレターを分解して「ドラム」を掃除するため、スロットルレバーを取り外す。 ↑「ドラム」の抜け止めとなっているスロットルリテーナーを取り外す。 ↑これが、取り外した状態のスロットルリテーナー(黄色の矢印)。



↑ここまで分解すると「ローター」は簡単に引き抜くことができるので掃除を始めよう。 ↑エンジンヘッドの「直噴」に繋がっているシリコンチューブを取り外す。 ↑ローターがクルクル回るまでローターを回す(外す必要はない)。



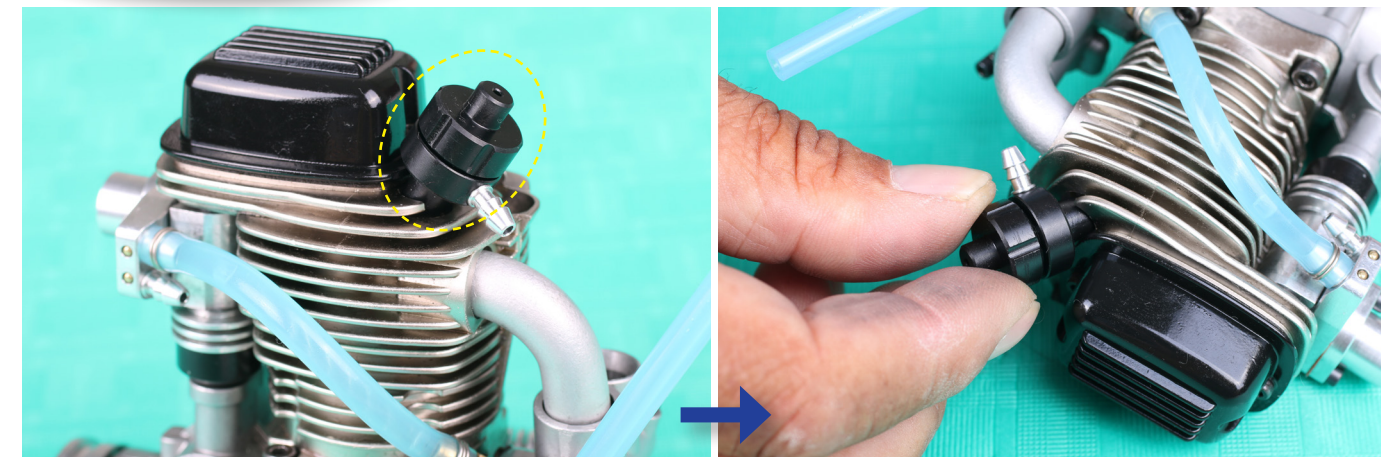
↑「ローター」の「小さな穴」と「溝」の部分(点線の円)にゴミが附着しやすいので、ウエスで拭いてパーツクリーナーなどで掃除してこよう。

最終的な確認方法

これまで分解掃除してきた各パーツを元通りに組み直して、ゴミ掃除がしっかりできているか…の確認をしてみよう。まず、エンジンヘッドの「直噴」部分に接続されているシリコンパイプを写真のように取り外し、燃料が入っている「燃料タンク」のシリコンパイプをレギュレーターの下にニップルに接続する(右の写真の状態)。この状態でエンジンのシャフトを手で回してみる。すると、エンジンのポンプが作動して燃料タンクの燃料を吸い込み、ローターのニップルに接続されたシリコンチューブ(赤い矢印)から「燃料」が出てくればゴミ掃除は完了している…ということになる(燃料がこぼれても良いようにウエス等を敷いておこう)。



ゴミ取り方法 ⑤ 最後に「インジェクター」の掃除を行えば完璧だ!



↑YS-DZエンジンの最大の特徴となっている「直噴」の部分。 ↑掃除するために、エンジンの「直噴」上側のキャップ部分を指で回して取り外す(ネジ式で、反時計回りに回すと外れる)。